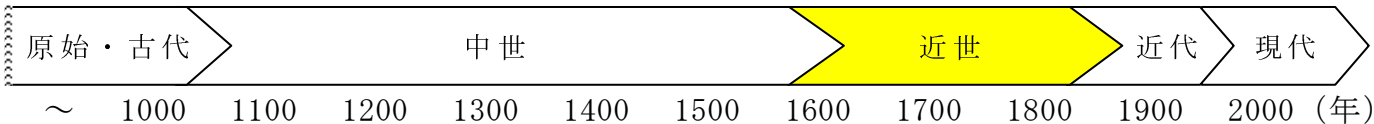


10 江戸幕府の衰退とひろしま すいたい ～阿部正弘あべまさひろ～



1 阿部正弘とはどのような人物だったのでしょうか？

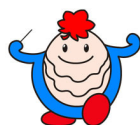
「泰平たいへいの眠りをさます上喜撰じょうきせん たった四杯で夜も眠れず」という狂歌は、1853(嘉永6)年のペリー艦隊かんの来航に対する日本の動揺どうようを詠んだものです。

この翌年の1854(嘉永7)年に日米和親条約を結び、開国への道を決定した人物が、福山藩主で当時老中ろうぢゅうだった阿部正弘(1819～1857)という人物です。

正弘は、1843(天保14)年に25歳で老中に就任し、2年後には、老中首座(4～5人いる老中の第一番の地位)に就任しました。正弘はその生涯しょうがいのほとんどを江戸で過ごしましたが、1836(天保7)年に福山藩主となり、その翌年に一度だけ国元である福山藩に帰っています。正弘は福山藩主として、現在の広島県立福山誠之館高等学校の前身となる福山藩の藩校「誠之館」を創るなど、藩政改革も進めました。



阿部正弘
(福山誠之館同窓会蔵)



阿部正弘は、開国にあたってどのように考え、どのようなことをしたのでしょうか？

2 阿部正弘は老中として、ペリーの開国要求にどのように対応したのでしょうか？

正弘は、ペリーの最初の来航で受け取ったアメリカの国書に訳文を添えて朝廷に報告しました。そして、親藩しんぱんや外様とごさま大名は幕府の政治に口出しをさせないというそれまでのやり方を変え、親藩・譜代ふだい・外様を問わず諸大名に意見を求めました。さらに、幕臣、大名の家臣、一般の人々にも意見を求めた結果、意見は700余り集まりました。

また、越前藩主の松平慶永まつだいらよしなが(親藩)や薩摩藩主の島津斉彬しまづなりあきら(外様大名)などと連携れんけいし、さらに前水戸藩主である徳川斉昭なりあきを外交や

年	おもなできごと
1845	幕府は海防掛を設置する。
1853	ペリー艦隊が浦賀に来航する。(6/3) 浦賀奉行がアメリカ国書を受け取る。(6/9) 幕府はペリー来航を朝廷に上奏する。(6/15) 阿部正弘が諸大名、幕臣らにアメリカの要求について意見を求める。(7/1) 品川沖台場の建造を始める。(8/24) 幕府は大船建造の禁を解く。(9/15)
1854	ペリー艦隊が再び来航する。 幕府、日米和親条約を調印する。
1855	幕府は長崎に海軍伝習所を設立する。
1856	幕府は講武所を開講し、武術訓練を行う。
1857	幕府は蚕書調所を開講し、洋学教育研究を行う。

開国の頃の主なできごと(月日は旧暦)

国防問題を担当する海防掛参与として幕政に参画させ、この困難を乗り越えようとなりました。しかし、決定的な意見は得られず、外国船は受け入れるが、通商はしないという方針を決定し、日米和親条約を結びました。

また、正弘は広く意見を聞くとともに、出身藩や身分を問わず有能な人物であれば積極的に幕府の要職に登用していきました。その一人に江川英龍がいます。江川英龍は蕪山代官でしたが、海防掛に登用されました。江川英龍は正弘に命じられて、品川沖に台場(砲台)を築きました。中浜万次郎(ジョン万次郎)や勝海舟など、多くの人物が阿部正弘に見出され活躍しました。



長崎海軍伝習所絵図(財団法人鍋島報効会蔵)

さらに、正弘は、海防の強化のため、西洋砲術を奨励したり、大船建造の禁を解いたりしました。このことにより、幕府自ら洋式の軍艦である鳳凰丸を建造し、水戸藩には旭日丸を建造させました。薩摩藩は、建造した昇平丸を幕府に献上しました。

開国後は、海軍士官を養成するための「海軍伝習所」、洋学を教育研究するための「蕃所調所」、剣術や砲術などを学ぶ「講武所」

など、外国に対抗できる有能な人材を育てるための教育機関を設置しました。

阿部正弘が行った、先例に縛られない積極的な人材登用や国防政策は「安政の改革」と呼ばれます。一方で、開国要求に対し、朝廷に報告を行ったことや諸大名や幕臣などに広く意見を求めたことは、結果として朝廷の権威を高め、諸大名の幕府政治に対する発言権を強めていくことになりました。

3 阿部正弘は福山藩主として、どのようなことをしたのでしょうか？

正弘は、福山藩の洋式帆船の建造を計画し、中浜万次郎にその模型をつくらせています。その船は、正弘の死後、1862(文久2)年に「順風丸」として完成しました。また、長崎海軍伝習所に福山藩から伝修生を送りました。江川英龍の蕪山塾にも藩士を送り、西洋砲術を学ばせ、西洋技術を積極的に導入しようとなりました。



福山藩軍艦・順風丸(「明治維新当事諸藩艦船図」)
(東京大学駒場図書館蔵)

それまで福山藩には漢学の

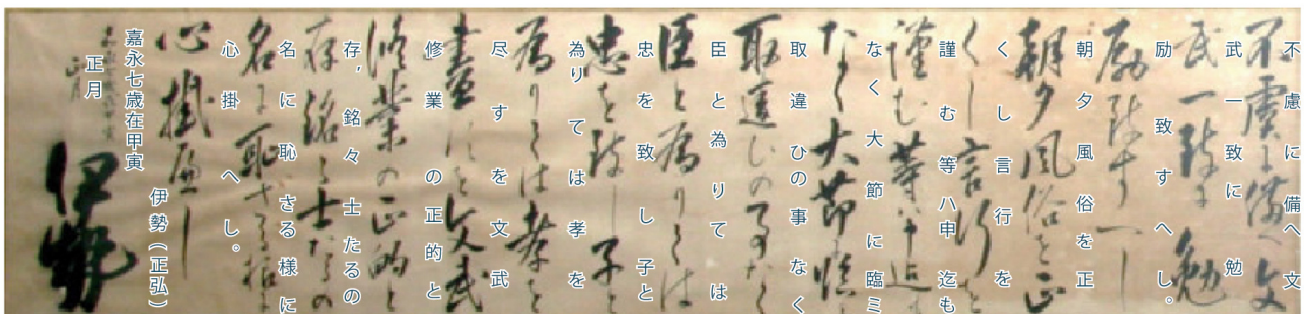
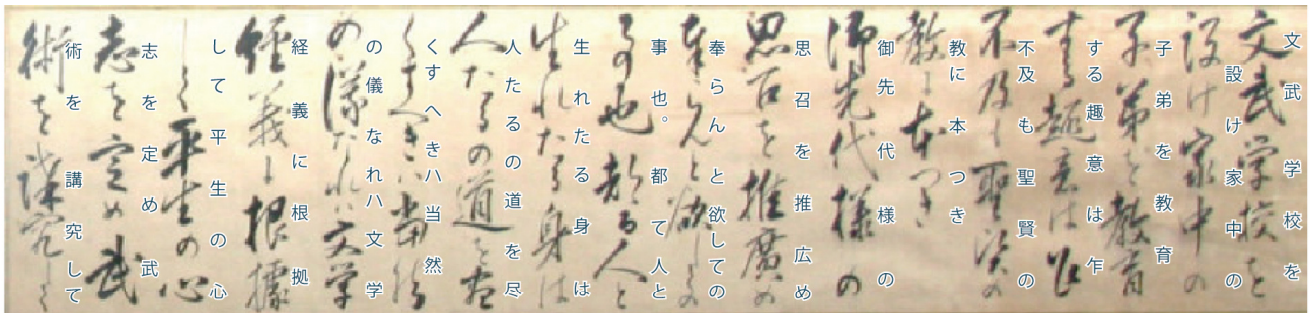
「弘道館」という藩校がありましたが、正弘は、新時代にふさわしい人材を育成するためには、新たな藩校が必要であると考えました。そこで、江戸の丸山藩邸と国元の福山藩にそれぞれ「誠之館」という藩校を新設しました。

広島県立福山誠之館高等学校の校門を入ると左手に「誠之館記念館」があります。これは、藩校「福山誠之館」の玄関を移したものです。江戸誠之館は1854(嘉永7)年に、福山誠之館は1855(安政2)年に開校しました。両方の開校式では、正弘直筆の「誠之館御諭書」が読みあげられました。



誠之館記念館
(福山誠之館同窓会提供)

藩校「誠之館」では、漢学・国学・洋学・医学・兵学・算術・習字・礼法などの諸科が設けられ、武術では、弓・槍・剣・馬術に加え、銃術・砲術などが完備されました。全藩士の8歳から17歳までの子弟全員に就学が義務づけられ、庶民であっても特別に入学が許可されることもありました。家柄・身分に関係なく、卒業試験の成績により役職や給与を決定する方法(「仕進法」)を採用しました。



《現代語訳》

- 学問や武術の学校を設立し家臣の教育を行うのは、聖人や賢人の教えにもとづいて先代(父・阿部正精)の方針を受け継ぎ、さらに推し進めたいと考えたからである。
- すべて人として生まれたのなら、人としての道理を尽くすことは当然であるので、文学や儒教の教えに基づいて、平生から心構えや志をしっかりと持ち、武術をきわめて、万が一に備え、文武両道に励みなさい。
- 朝夕、身なりや言動に慎むのは当然である。
- 重大な事件に際しては判断を誤ることないようにしなさい。
- 家臣であれば主君に忠義を尽くし、子であれば親に孝行を尽くすということを学問や武術修行の目的と考えて、それぞれが武士としての名に恥じぬように心がけなさい。

嘉永7年(1854)正月

阿部正弘

「誠之館御諭書」阿部正弘書(福山誠之館同窓会蔵)

阿部正弘はどのような人物だったのか、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

- 幕末の福山藩と広島藩の動きについて調べてみよう！
 - ・幕末の長州戦争に対して福山藩や広島藩はどのような動きをとったのでしょうか？
 - ・福山藩は廃藩置県の後、どのような県になったのでしょうか？
 - ・広島藩では廃藩置県によって、どのような騒動が起きたのでしょうか？
- 幕末に軈でおきたいろは丸事件について調べてみよう！
 - ・いろは丸事件とはどのような事件だったのでしょうか？
 - ・坂本竜馬はいろは丸事件でどのようなことを行ったのでしょうか？

坂本竜馬は軈でおきたいろは丸事件と関係していたの？

◇福山城博物館

住所：福山市丸之内1-8 TEL：084-922-2117 HP

◇広島県立歴史博物館

住所：福山市西町2-4-1 TEL：084-931-2513 HP



【もっと知りたい！郷土の歴史】

2度の長州出兵とひろしま ～廿日市町屋跡(廿日市市)～

幕末に長州藩は幕府と対立し、幕府は全国の大名に長州藩への出兵を要請しました(長州出兵)。1度目は1864(元治元)年で、西郷隆盛も幕府側の参謀として参加しています。この時は、実際に戦闘はありませんでしたが、西日本の諸藩から26000人ももの藩兵が集結しました。

2度目は1866(慶応2)年で、この時は幕府軍と長州軍で実際に戦闘がありました。山口県との県境付近で始まった戦争は、幕府軍が敗北し、長州軍が大竹から廿日市方面に攻め入ってきました。広島藩は、廿日市に放火して長州軍の侵入を食い止めました。その後、休戦となりましたが、実質は幕府側の敗北に終わりました。

広島町の町は幕府軍の拠点となり、多数の兵士や人夫が集まり、多くのお金や物資があふれました。商人には利益がありましたが、廿日市周辺の人々は戦火に巻き込まれ、広島藩内の農村では人夫を出したり、臨時の税が課せられたりして負担が重くのしかかりました。

近年、廿日市市街地で行われた発掘調査では、江戸時代末頃の焼けた地面や黒く焼け焦げた出土品が見つっています。これは、2度目の長州出兵の時のものと考えられています。



廿日市周辺の人々は長州戦争の戦火に巻き込まれたんだね。



廿日市町屋跡の焼けた地面
(広島県立埋蔵文化財センター提供
撮影：財団法人広島県教育事業団)